

第 82 回 調整力及び需給バランス評価等に関する委員会 議事録

日時：2023 年 2 月 10 日（金）

場所：書面開催

配布資料：

（資料）議事次第

（資料 1）確率論的必要供給予備力算定手法（EUE 算定）における新たな供給信頼度基準の算定について（報告）

議題 1：確率論的必要供給予備力算定手法（EUE 算定）における新たな供給信頼度基準の算定について（報告）

〔頂いた御意見〕

（秋元委員）今後、ミスの発生を極力抑えるよう、丁寧な確認作業を実施するようにしてほしい。

（小宮山委員）今回は、早期に算定の誤りを発見し、再算定の対応が速やかになされたことから、全体としての影響は最小限に抑えられているものと認識している。また、資料 1 のスライド 6 にて、項目ごとの信頼度基準への影響算定により、EUE 数値の変化の背景がより分かりやすく説明されている。今後、同様の信頼度基準の見直しを行う際は、資料 1 のスライド 6 にある要因別の影響把握などのように、各諸元の変化が EUE 数値に与える感度の事前の把握等も、誤算定の予防に有効ではないか。

〔事務局コメント〕

（事務局）EUE 算定には多くの諸元データ、設定項目があるが、確認ポイントの整理など対策を整え、再発防止に努めたい。また、今回の信頼度基準変更のように、定例業務での算定ではない状況においては、より丁寧に確認作業を進めていく。算定結果の変化量の分析についてもご指摘のとおり誤算定の予防につながると考えており、あわせて取り組んでいきたい。

〔委員長コメント〕

（大橋委員長）検討の結果、信頼度基準は新たに $0.044\text{kWh/kW}\cdot\text{年}$ ということで、厳気象対応・稀頻度リスクの供給力増加と計画外停止率の増加とをトータルにみると EUE が微減ということになった。様々な諸元の確認が必要であり事務局でも大変だと思うが、供給信頼度基準の算定は安定供給上きわめて重要な指標であることから、今後も事務局に置かれては細心の注意を払って算定の精緻化に努めてもらいたい。

以上